

千葉大学 グローバルプロミネント研究基幹特任教員の公募について

このたび、千葉大学グローバルプロミネント研究基幹（以下、GP基幹という）^{注1)}では、GP基幹が推進する研究プロジェクト「**先導的ソフト分子の活性化と機能創製**」（推進責任者：理学研究院 荒井孝義教授）を加速するとともに、CIRIC^{注2)}で行われる研究を支援する特任教員を下記の要領に従い公募することになりました。つきましては、関係各位に周知のご手配をいただけましたら幸いに存じます。

注1)

GP基幹は、千葉大学の研究の核となる新規性・独創性を備えた多様で発展性のある研究群を長期的に渡り継続的に創出するシステムです。GP基幹が推進する研究プロジェクトに対し、人員を配置する等、種々の推進施策を実施しています。

注2) 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター(Chiba Iodine Resource Innovation Center: CIRIC)は、平成28年度文部科学省「地域科学技術実証拠点事業」の採択(代表研究者：理学研究院 荒井孝義教授)を受けて、千葉大学西千葉キャンパスに2018年3月に竣工予定のセンターであります。

1. 所属・職名

GP基幹・特任准教授 1名

2. 任期

平成29年10月1日から平成30年3月31日まで(年度更新)

※雇用の更新は雇用経費の状況、勤務成績の評価等に基づいて年度毎に行い、最長任期は平成34年3月31日までとなります。

3. 公募内容

千葉大学は、GP基幹が推進するリーディング研究育成プログラム「先導的ソフト分子の活性化と機能創製」を加速し、合わせてCIRICで行われる研究を支援するために、特任准教授1名を募集します。(本教員の所属は、GP基幹となります。)

CIRICでは、千葉が産出するヨウ素の高機能化を目指す研究を多角的に実施します。特にヨウ素の高機能化に関わる広範な研究分野から若手研究者を募集します。

4. 研究環境など

研究スタートアップ経費として2017年度に200万円を支援します。

CIRIC内に、当該教員専有スペースとして、ドラフトチャンバーや実験台を完備した実験室、研究室(110m²)を整備します。

CIRICには、NMR, XPS, ICP, ITC, LC/MS/MSならびに各種分光分析装置が整備されます。
これらの装置を使って最先端の研究を進めて頂く一方、装置の維持、管理にもご協力頂きます。
産学官連携共同研究に積極的な方を優先します。

5. 着任時期

平成 29 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期

6. 応募資格

博士の学位を有する方又は着任時までに博士の学位を取得見込みの方

7. 給与

給与は年俸制とし、年俸額は千葉大学の規則に準じて決定します。

8. 応募書類

(1) 履歴書（写真貼付、連絡先の電話番号及び E-mail アドレスを明記）

(2) 研究業績リスト [A4 用紙に、(a)－(g) に分けて記載]

(a) 原著論文（査読の有無を明記のこと）

(b) 総説等

(c) 著書

(d) 科学研究費補助金等の競争的資金獲得状況

(e) 特許

(f) その他（招待講演、受賞歴等）

(g) 分析装置の維持、管理の経験の有無とその内容

(3) 主要論文の別刷（またはその写し）5 編以内（研究業績リストに○をつける）

(4) 研究業績を問い合わせることのできる方 2 名の氏名および連絡先

(5) 研究実績の要約と千葉大学着任後の研究計画（A4 用紙 2 枚程度）

尚、(1)～(5)の全ての紙媒体の他に、電子媒体（MS Word ファイルまたは PDF ファイル）も提出してください。

9. 応募の締切：

平成 29 年 7 月 31 日（月曜日）必着

10. 応募書類の送付先および応募に関する問い合わせ先：

〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学大学院理学研究院 化学研究部門

荒井 孝義

E-mail: tarai@faculty.chiba-u.jp

電話:043-290-2889

封筒の表には「G P 基幹特任教員応募書類在中」と朱書して、上記宛てに簡易書留でお送り下さい。

1 1. その他

応募書類は本選考以外の目的には使用せず、原則として返却しません。

また、選考過程で面接を実施する場合があります(旅費等自己負担)。

なお、教育研究業績が同等であれば女性、外国人、他機関勤務経験者を積極的に採用します。